

阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会（第1回）

議事概要

1. 日 時：平成28年9月13日（火）13：30～15：00
2. 場 所：阿寒湖まりむ館 多目的ホール
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議 事

■開会

- 環境省釧路自然環境事務所 安田所長 挨拶
- 観光庁観光地域振興部観光資源課 蔵持課長 挨拶

■地域協議会の設置について

- 事務局から資料2、参考資料1に基づき説明。
- 設置要領案を協議会として了承。（H28年9月13日施行）

■議題

（1）国立公園満喫プロジェクトについて

- 環境省から資料2に基づき説明。
- ※意見等なし

（2）阿寒国立公園満喫プロジェクトについて

- 環境省から資料3、4に基づき説明。
- 北海道から資料5に基づき説明。

○意見等の概要

【美幌町 那須主幹】

- ・美幌峠は年間80万人の利用者が訪れるなど、全国道の駅ランキングのトップクラスにも入るようなところ。阿寒国立公園の玄関口としても重要であり、是非ビューポイントとして設定して頂きたい。
- ・阿寒国立公園は、釧路空港だけでなく女満別空港からのアクセスもある。女満別空港は、民営化の動きが見られるなどインバウンド含めた利用者の増加が見込まれるため、新規路線の誘致も重要と考える。

【釧路市 蝦名市長】

- ・高橋知事を筆頭に地元が連携して展開した要望活動が、地元の熱意として評価され選定に結びついたことは喜ばしい。引き続き関係市町が連携し、プロジェクトを進めたい。

- ・道内の外国人旅行者は道央に比べ道東は極めて少ないという現状があるが、一方で、道東には大きな伸びしろがあると考えている。
- ・我々地元では「阿寒摩周国立公園」への名称変更を要望している。そのようなことを通じてナショナルパークブランドを確立し、世界自然遺産である知床とも連携して、「ひがし北海道」へ世界からの旅行者を増やしていきたい。
- ・その上では、自然環境の保護と利用の両立は欠かせないものであると考えている。
- ・また、「マリモ」や「アイヌ文化」はブランドを確立する上で非常に重要となる。
- ・ここでしか体験できないアクティビティ、バリアフリー化などストレスフリーな交通ネットワークや通信ネットワークが必要。

【津別町 佐藤町長】

- ・津別峠は雲海ツアーなどで利用されているが、台風による土砂崩れで道路が寸断されている。早期の復旧をお願いしたい。
- ・津別峠は国立公園の外から公園内を見渡せる場所として重要と考えている。また、阿寒国立公園だけでなく知床など複数の公園を見渡すことができる。小清水町にも同じような場所があるため、先ほどの美幌峠を含め、何らかの形でビューポイントとして設定することは重要と考えている。
- ・津別町では農家等に宿泊し農業体験をしてもらうようなグリーンツーリズムに力を入れている。そのようなプログラムも重要ではないか。
- ・先程の説明で「世界水準のナショナルパーク」を目指すと思ったが、「世界水準」とは何か？海外の国立公園など目指すべきところの例を説明していただくとわかりやすい。

【大空町 阿部主幹】

- ・インバウンドだけでなく、地域の方々にも満喫して利用してもらえるような観点も重要と考える。
- ・藻琴山は、身近な登山のできる場所として地域の方々に親しまれているため、その活用も検討していただければ。
- ・満喫プロジェクトを推進するためには、民間の力がなくなかなか難しいと考える。

【足寄町 安久津町長】

- ・満喫プロジェクト推進のためにも、「阿寒摩周国立公園」への名称変更をスピードアップして欲しい。
- ・オンネトー周辺の施設は老朽化が進んでいる。公園を訪れる方々に、気持ちよく過ごしてもらうことが非常に重要であるため、それらの施設の改修や再整備をお願いしたい。
- ・必要以上の開発は不要と考えている。湯の滝もこれ以上の開発は必要ない。以前、野中温泉から車を通行止めにして、歩いて行くのも良いのではという提案をしたことがある。

国立公園は癒しの空間であるべきで、そういった利用の在り方も検討していければと考えている。

【標茶町 池田町長】

- ・西別山は他の名所に比べると地味であり、ビューポイントには馴染まないと思うが、一部の方々には大変人気がある。そのような方々も大事にしていきたい。
- ・海外の国立公園を訪れた際、利用者に対するルールやマナーがかなり厳しかった記憶がある。利用者を増やすことを目標に掲げるのはよいが、長期的な自然資源の持続的な利用を進めていくという観点からは、利用者に対して「これだけは守ってほしい」といった一定の規制やルール・マナーの周知徹底も必要と考える。

【弟子屈町 徳永町長】

- ・観光関係者は満喫プロジェクトに期待しており、町としても観光業を何とか向上させていきたいと考えている。そのためには、ある程度行政が支えることが重要である。
- ・短期間でプログラムをまとめなければならず、また古い建物をどうするかといった課題も多く大変であるが、11市町が協力・連携して取り組んでいきたい。
- ・利用者に喜んでもらうためには、観光業をはじめとする地域の方々が、日頃から明るく元気であることが重要。
- ・「阿寒摩周国立公園」の名称変更に向けた取組に感謝している。

【環境省 安田所長】

- ・国立公園の名称変更については、来年夏頃を目指して作業を進めている。

【中標津町 天野課長】

- ・阿寒国立公園から90分以内に空港が3つもあり（釧路空港、中標津空港、女満別空港）、そのようなところにも着目して利活用を考えることが重要ではないか。
- ・レンタカーを利用する個人客が増えているが、レンタカーを別の空港で乗り捨てすると乗り捨て料金がかかる。利活用を推進するために、ソフト面の施策を打ち出すことも重要と考える。

【北海道観光振興機構 村上専務理事】

- ・広域観光周遊ルートを取組では、札幌―知床間のツアーバスを試験的に運行している。このような既存の取組とコラボレーションできるような進め方が重要ではないか。
- ・利用者目線に立つと、ビューポイントが多すぎると焦点がぼやけてしまいよくない。行政で考えると平等に選定しようとするためビューポイントも多くなってしまい、そうになると利用者も困ってしまうだろう。

- ・北海道は広いので、釧路、女満別、中標津の3つの空港の利活用が重要。そのようなアクセスルートとビューポイントを上手く組み合わせて、利用者目線で設定することが重要である。

【阿寒観光協会まちづくり推進機構 大西理事長】

- ・ビューポイントに掲げられているものは、これまでもアピールしてきた。例えば、白湯山やオンネトー周辺の施設は痛んでいるので、施設整備は必要だろう。かと言って、施設をきれいに整備しただけで利用者は増えるだろうか。もう一步踏み込んだアプローチが必要と考えている。
- ・阿寒湖では、湖の中に出てこそ魅力が実感できる。利用者を湖に誘導することで魅力を向上させていきたい。例えば、チュウレイ島でマリモについて学んだ後に、ガイド付きに限りボードでマリモの生息地に入っていけるような利用も良いのではないか。マリモ再生のための調査等が行われているシュリコマベツ湾を活用するのも一つの手。
- ・満喫プロジェクトの推進に当たって、以下の5つを提案したい。
 - ①大島の活性化。周辺の山では常にヒグマと遭遇する危険があるが、湖上の島ではその心配はなく、安全性が確保された利用を推進できる。
 - ②アイヌコタンの再生を図ること。阿寒湖のアイヌコタンは道内最大規模であり、阿寒湖をアイヌ文化やアイヌ色で染め上げたい。地域では、アイヌコタンや地域の商店街の魅力向上を後押しするような仕組み（補助制度）を作り、これまでに4件の実績がある。このようなことを更に展開したい。
 - ③スキー場の利活用。現在でも国際大会が開かれるなど利用されているが、利用者にもっと楽しんでもらえるような場所にする必要があると考えている。例えば、頂上にカフェをつくり、スキーの合間に阿寒湖を眺めて休憩してもらおうのがよいのではないか。
 - ④「阿寒摩周国立公園」への名称変更を契機として、2つの地域が融合し、繋がりが生まれるようなイベントなどがあると良いのではないか。
 - ⑤富裕者層を取り込んでいくことも重要と考えている。そのためには、千歳空港や釧路空港からのアクセスが重要。ハードルが高いということは認識しているが、ヘリコプターや水上飛行機の活用について、例えば数を限定するなどその方法を検討したい。

【摩周湖観光協会 中嶋会長】

- ・阿寒湖や川湯などの地域、各ホテルそれぞれが競争するのではなく、相互に連携して進めていきたい。
- ・川湯温泉街は疲弊している。川湯温泉の再生なくして、阿寒国立公園満喫プロジェクトなしと考えており、国内外の方々に満足してもらえる結果が出るよう努力していきたい。

【前田一步園財団 新井田理事長】

- ・ 3600ha の森林について、観光地の景観を守るため、そして自然を守るための管理をしてきた。
- ・ これまでは山火事などの危険があるため人を入れてこなかったが、これからは自然の良さを様々な人々に知ってもらえるような事業を進めていきたい。
- ・ 自然を壊してはいけない。自然を守るためのルールをしっかり作り、楽しんでもらう仕組みが必要と考えている。

【自然公園財団阿寒湖支部 田中所長】

- ・ ルールやマナーの仕組みの徹底が必要。
- ・ 海外の国立公園で行われているような利用プログラムの開発が必要ではないか。エコツアーリズムの精神も踏まえつつ、新たなプログラムの作成など利用メニューの充実化を図ることが必要。

【自然公園財団川湯支部 藤江所長】

- ・ 摩周湖は世界的にも透明度が高く誇るべき場所であり、展望台のあり方などについて、摩周湖の自然を尊重しながら利用を推進していく観点での検討が必要である。
- ・ 硫黄山については、過去の硫黄採掘の歴史を踏まえた「見せ方」が重要である。
- ・ 「世界水準」という言葉が掲げられているが、満喫プロジェクトを推進するにあたっては、世界を熟知している専門家にプランニングしてもらうという視点も重要ではないか。
- ・ 国立公園の利用に関して、これまでは利便性を重視した整備を行ってきた。これからは、自然をいかに守って、利用していただくかが重要。このプロジェクトでは、例えば 100 年先を見据えた長期的な視野を持つことが重要と考える。

【北海道経済産業局 小貫課長】

- ・ 利用者の消費単価を向上させるという考え方も重要であり、消費単価向上支援事業なども活用して頂きたい。
- ・ 利用者の行動を把握することも重要。「アート」や「食」をキーワードにしたプラン作り、IT 関係や海外向けのプロモーション等について、経産省としても応援したい。

【北海道森林管理局 上田次長】

- ・ 大半を占める国有林について、現在レクリエーションの森の見直しを進めているところであり、そのような面から貢献していきたい。

【釧路運輸支局 畑中支局長】

- ・ 外国人旅行者数 4000 万人に向けて、東北北海道の果たす役割は大きいと史料。
- ・ 広域観光周遊ルートや水のカムイ観光圏もあるので、そのような取組との連携して進め

ていただきたい。

【北海道開発局 釧路開発建設部芳賀次長】

- ・河川や道路、港湾などの施策と相互に連携して進めていきたい。

【観光庁 蔵持課長】

- ・「世界水準」とは何かという質問があったが、例えばイエローストーン国立公園については、官邸での議論の中でも挙げた。イエローストーンについても、守るべきものは守り、楽しませるところは楽しませようとした結果として、現在のような水準が築かれたのではないか。
- ・阿寒については、まず、その魅力を国内外に発信していくことが重要。満喫プロジェクトでは8つの国立公園が選定されており、阿寒・摩周らしいものを掲げていく必要がある
- ・利用者の増加と上質な利用の両方を目指すプロジェクトであり、ターゲットが非常に難しいと思うが、まずは地域として、誰に訴えていくのか、数か質か、そのようなところから検討を進めていくことが重要である。
- ・また、ターゲットに対して何を見せればよいのかというプロモーションも重要である。国立公園のきれいな風景だけではなく、日本の国立公園特徴である人々の暮らしなどにも焦点を当てることがよいのではないか。

■閉会

○北海道環境生活部環境局 石島生物多様性・エゾシカ対策担当局長 挨拶